

選考理由

佐々木泰子氏は、令和3年の学長就任以来、お茶の水女子大学がこれまで築き上げてきた伝統と実績を継承しつつ、社会的な課題に向けた先進的な教育・研究のほか、国際的ネットワークの強化、社会貢献の更なる充実、それを可能とする体制の整備に意欲的に取り組んでおり、また、財政基盤の充実・安定のために新たな施策に取り組むなど、お茶の水女子大学の存在意義を高めていると認められる。以上のことから、今後も社会の要請に応えつつ、大学の強みを発信し、本学の教育・研究及び社会活動を持続的に発展させることができる者と判断し、規則第10条の規定に基づき、同氏を国立大学法人お茶の水女子大学の次期学長候補者として決定した。